

# 平成26年度事業報告

## I 法人運営事業

### 1. 会 議

#### (1) 理事会、評議員会

##### ◇第1回

開催日：平成26年5月28日（水）

場 所：ふれあいセンターもも（中央区在宅サービスセンター）

議 題：① 平成25年度事業報告

② 平成25年度決算報告

③ 平成25年度監査報告

④ 役員の補充選任(案)

##### ◇第2回

開催日：平成27年3月30日（月）

場 所：ふれあいセンターもも（中央区在宅サービスセンター）

議 題：① 定款等の改正（案）

② 平成27年度事業計画(案)

③ 平成27年度収支予算(案)

④ 任期満了に伴う役員改選（案）

### 2. 基盤整備

#### 会員会費制度の確立

加入状況	個人会員	378人
	法人会員	13法人
	団体会員	39団体

### 3. 広報・啓発

#### (1) 区社協広報紙「区社協だより」の発行

発行月 平成26年 7月（第44号）、平成26年10月（第45号）、  
平成27年 2月（第46号）

発行部数 各52,000部

配布方法 新聞折込み、法人会員・善意銀行預託者・ボランティアビュー  
ロー登録者に郵送、関係機関に配布・周知依頼、行事等で配布

(2) 「区民まつり」における啓発

日 時 平成26年10月19日(日) 11:00~16:00

場 所 難波宮跡公園

内 容 区社協情報コーナー、ももっぴいうちわ作成コーナー、地域包括支援センター(認知症クイズ)コーナー、CFK(出前講座)コーナー、地域福祉アクションプランコーナー

(3) 区の広報紙「広報ちゅうおう」による広報

発行日 毎月1日

内 容 毎月「広報ちゅうおう」の紙面に、会員募集、講習会等の開催、ボランティア募集などの記事を掲載

配布方法 新聞折込み、窓口設置 など

(4) 啓発パンフレットの配布

(5) ホームページを活用し、インターネットによる広報の強化

#### 4. 善意銀行の運営

預託・払出し明細……………【書類番号1】

預 託 24件(金銭10件、物品14件)

払 出 18件(金銭6件、物品12件)

#### 5. 地域福祉事業

(1) ふとん丸洗い乾燥サービス事業

目 的 在宅で寝たきりなどの高齢者、重度障がい者及び寝具の清潔保持が困難な世帯を対象に、環境の改善を目的として実施

内 容 事務局で申込者名簿を作成の上、業者へ発注  
利用者1人あたり、掛・敷ふとん・毛布 各1枚

利用料は掛・敷ふとん各1枚1,000円、毛布1枚400円

周 知 「広報ちゅうおう」「区社協だより」へ記事掲載、関係機関等へ案内チラシを配布

実施状況 利用数 65人

実施時期 受付：7~8月 実施：9月8日~20日

(2) ふれあい型食事サービス事業

桃 園(昭和55年開始) 配 食 桃園会館で週1回(毎週火曜)

桃 谷(昭和55年開始) 配 食 桃谷会館で週1回(毎週月曜)

金 甌 (昭和 57 年開始)	会 食	金甌会館で月 2 回(第 1・3 金曜)
高 津 (昭和 58 年開始)	配・会食	ドームこうづで週 1 回(毎週金曜)
玉 造 (平成 8 年開始)	配・会食	玉造会館で月 2 回(第 2・4 土曜)
南大江 (平成 9 年開始)	会 食	南大江会館で月 1 回(第 2 火曜)、
南大江 (平成 24 年開始)	会 食	法円坂公社ハイツ 35 集会室で月 1 回(第 2 火曜)
東 平 (平成 12 年開始)	配・会食	東平会館で月 1 回(第 4 水曜)
愛 日 (平成 12 年開始)	会 食	愛日会館で月 1 回(第 4 土曜)
集 英 (平成 13 年開始)	会 食	集英会館で月 2 回(1回は第 4 金曜、1回は第 2 土曜)
渥 美 (平成 14 年開始)	会 食	南船場会館で月 2 回(第 1 月・第 3 金曜)
大 宝 (平成 18 年開始)	配 食	大宝連合会館で月 2 回(第 2・4 水曜)
中大江 (平成 21 年開始)	会 食	中大江校下センターで月 2 回(不定期)
芦 池 (平成 22 年開始)	配・会食	南船場会館で月 3 回(第 1・3・4 金曜)

### (3) 車いす貸出事業

#### ① 貸出延べ件数

個人 166 人、団体 6 団体 (24 台)

#### ② 貸出状況

地域社会福祉協議会 7 台(平成 27 年 3 月現在)

(内訳) 集英 1 台、金甌 2 台、高津 1 台、精華 1 台、河原 2 台

## 6. ふれあい事業

### (1) 地域合同開催「空堀・桃谷ふれ愛まつり」

開催日 平成 26 年 10 月 12 日 (日) 10:00~15:00

場 所 空堀桃谷公園、桃谷会館、ふれあいセンターもも

参加者 約 800 人

主 催 桃谷地区地域活動協議会

協 賛 桃谷連合自治会、空堀通り商店街振興組合、中央区社会福祉協議会

協 力 中央区南医師会、中央訪問看護ステーション、高齢者外出介助の会

目 的 イベントを通じて、地域交流を図りながら地域福祉を推進する

内 容 じゃんけん大会、お楽しみ抽選会、新鮮野菜青空市、フリーマーケット、ポイントラリー、缶バッジ作り、介護相談・健康相談コーナー、キックターゲット、おもちゃ手作り教室、フラダンス、コーラス、篠笛 など

### (2) 「第 7 回 みんなおいでよ！中央区社協フェスタ」

開催日 平成 26 年 11 月 16 日(日) 11:00~15:00

場 所 ふれあいセンターもも

参加者	563人（配付資料に基づく。出演者、ボランティアを含まない）
主催	中央区社会福祉協議会、中央区地域包括支援センター、中央区ボランティアビューロー、中央区東老人福祉センター、中央区南老人福祉センター、中央区子ども・子育てプラザ
後援	中央区地域福祉アクションプラン推進委員会、中央区フィランソロピー懇談会（CFK）
協力	南警察署
目的	地域福祉の担い手としての役割を果たす中央区社会福祉協議会の活動を、より多くの区民に知っていただくとともに、地域福祉に取り組む団体・関係機関と地域住民との交流を図る
内容	認知症クイズ、オリジナルももっぴいカレンダー作り、ももっぴい缶バッジ作り、手作りおもちゃ、こどものあそびコーナー、ふれあい喫茶と地域活動紹介コーナー、バルーンアート、縁日コーナー、警察コーナー、アコーディオン演奏、キーボード演奏、民謡披露、フラダンス披露、スタンプラリー、アクションプラン・各事業パネル展、飲食コーナー、お楽しみ抽選会

## 7. 地域社協指導育成事業

### (1) 地域社協助成金の交付

17地域社協に交付

### (2) 地域支援活動の推進

地域住民の参加と協力による支え合い、助け合い活動を支援

## 8. 高齢者福祉（高齢者福祉月間）事業

### (1) お祝い品贈呈

88歳(米寿)を迎えられた希望者71人に記念品贈呈

### (2) 敬老観劇会

日時 平成26年9月25日（木）14:30 開演

場所 なんばグランド花月

参加者 吉本興業(株)のご厚意により70歳以上の方150人を招待

### (3) 金婚夫婦お祝い会

日時 平成26年9月5日（金）14:00 開会

場所 中央区民センター

次第 記念撮影、お祝い品贈呈、アトラクション

参加申込 43組

(4) 高齢者訪問

訪問日 平成26年9月8日(月)

対象者 中央区在住の100歳を迎えられた方11人

訪問者 区長、区社協会長、老人クラブ連合会副会長 など

9. 障がい者福祉事業

心身障がい児童へクリスマスプレゼント

対象 身体障害者手帳1・2級または療育手帳Aの交付を受けている  
平成8年4月1日以降に生まれた児童

申込者数 12人

内容 申込により、12月24日前後に宅配

10. 「中央区地域福祉アクションプラン」の推進

「中央区地域福祉アクションプラン」は、中央区役所との共同事業として、平成18年3月に、「誰もが住み慣れた地域で、安心安全に暮らせる地域福祉の充実したまちの実現」をめざし策定し、区民参加のもと推進に取り組んできました。

平成23年度からは「第2期中央区地域福祉アクションプラン」として、次の4つの方向性に沿って取り組むこととなりました。

- (1) 世代・分野を超えて、地域での交流の場や機会づくり
- (2) 誰もが福祉の情報を手に入れられるような広報の強化
- (3) 地域で支えるしくみづくり(要援護者支援のしくみづくり)
- (4) 横のつながりづくりや地域のつながりづくり

平成26年度は、「要援護者支援のしくみづくり」に向け「支え愛ネット部会」を中心に、各地域での会合やイベントにおいて「命のカプセル」や「安心安全カード」等の取組みの説明を行い、その普及に努めてきました。「HANDSちゅうおう」では、地域における障がいのある人への理解の機会づくりとして地域のバザーへの参加や「バリアフリー上映会」を行いました。「子育て支援はぐ・スマイル」では、乳幼児のための救急と防災イベントを実施し、消防署や企業、NPO団体との連携を図りました。

また、3月には「地域福祉フォーラム」を開催し、講演会、パネルディスカッション、パネル展示等を通じてアクションプランの取組みの重要性を訴えるとともに、情報交換や交流の機会づくりを行いました。

## 11. 他機関との連携

### (1) 中央区社会福祉施設連絡会の開催

開催日時 平成26年11月21日(金) 15:00~16:30

参加者数 16名

開催場所 ふれあいセンターもも

内 容 ①避難所運営ゲーム「HUG（ハグ）」を通じて災害時要  
援護者支援について考える  
②情報交換

### (2) 地域支援調整チーム代表者会議・子育て支援専門部会・地域自立支援協議会への参加

### (3) 中央区子育て支援関係機関連絡会議への参加

## 12. 職員研修

### (1) 大阪市社会福祉協議会、中央区役所、他団体主催の人権研修会への参加

### (2) 各職種、業務担当別研修会への参加

## 13. 「ふれあいセンターもも」イメージアップ事業

区社協設立20周年記念事業（平成20年度）で採用したマスコットキャラクター「ももっぴい」やその着ぐるみを「ぶら空堀まつり」や「にぎわいスクエア」などの諸事業に活用して、区民の方々に親しまれ、頼りにされる地域福祉推進の担い手として区社協のイメージアップを図りました。

## 14. 東日本大震災支援活動

チャリティーイベントの開催

平成27年1月17日（土）に、中央区民センター、中央区役所1階ロビー、区役所前広場において、中央区フィランソロピー懇談会(CFK)と共催し「チャリティーフェスティバル～忘れへんで3.11・忘れてへんで1.17～」を開催しました。

## 15. 生活福祉資金貸付事業

平成26年度から大阪市社会福祉協議会の委託を受けて生活福祉資金貸付業務を開始し、低所得者、障がい者または高齢者の世帯に対し、資金の貸付と必要な支援を行い、経済的自立及び生活意欲の助長促進ならびに社会参加の促進を図るなど安定した生活を送れるように実施しました。

種類		件数	実相談件数	貸付状況		
				決 定	不承認	辞 退
総合支援資金	生活支度費		54件	3件	1件	
福祉資金	生業費		1件	2件	1件	
	障がい者用自動車購入		2件			
	医療費		3件			
	転居費		13件	1件		
	その他		5件			
教育支援資金	修学費		13件	6件		1件

## 16. その他

### (1) 共同募金運動への協力

- ① 街頭募金活動への参画
- ② 共同募金の受付と送金
- ③ 共同募金配分金を地域社協、各種団体・事業へ配分し事業に活用
- ④ 歳末助け合い運動への協力

### (2) 日本赤十字社社資募集等事務への協力

- ① 社資の受付と送金
- ② 赤十字奉仕団連合助成金の配分

### (3) 大阪市社会福祉大会

日 時 平成26年10月29日（水）

場 所 大阪国際交流センター

<大阪市長表彰>

社会福祉協議会役員

清水隆司氏

<大阪市長感謝状>

社会福祉協議会役員

不破忠幸氏

<大阪市社会福祉協議会会長表彰>

功勞表彰（社会福祉協議会役員）

清水隆司氏 原野義勝氏

<大阪市社会福祉協議会会長感謝状>

社会福祉事業協助者

## II 中央区ボランティア・ビューロー事業

### 1. 運営・基盤事業

ボランティア・ビューロー運営委員会の実施

開催日：平成26年5月28日（水）

場 所：ふれあいセンターもも

議 題：①平成25年度事業報告並びに決算報告

②平成26年度事業計画（案）並びに予算（案）

### 2. 啓発・広報事業

- (1) 「広報ちゅうおう」にボランティアスクール情報を掲載
- (2) 「中央区社協だより」（年3回発行）にボランティア・ビューローだよりを掲載
- (3) 区社協のホームページにボランティア募集・スクールの広報を掲載
- (4) 「中央区社協フェスタ」の周知及びボランティア啓発
- (5) 生涯学習関連施設連絡会のパネル展に出展

### 3. ボランティア養成事業

- (1) 保育ボランティアスクールの実施（延べ42名）
- (2) 誰にでもできる簡単ボランティア講座の実施（延べ4名）
- (3) 団塊・シニア世代ボランティア講座の実施（延べ45名）
- (4) ボランティア研修会「救急救命講習会」（延べ11名）
- (5) ボランティア研修会「統合失調症を知ろう」（延べ45名）

### 4. 活動支援事業

- (1) 中央区フィランソロピー懇談会の活動支援
  - ・定例会12回・幹事会12回・出前講座9回
  - ・CFKチャリティーフェスティバル(企業・市民協働セミナー)1回
  - ・CFK企業・市民協働交流会（自転車利用啓発セミナー）1回
- (2) パフォーマンスボランティア活動の支援（活動のコーディネート）
- (3) 保育ボランティア活動の支援（活動のコーディネート）
- (4) 団塊・シニア世代グループの支援（月1回定例会の支援）
- (5) 古切手活動の支援（定例活動11回）
- (6) エコキャップ活動の支援（定例活動11回）
- (7) 区社協デイサービスでの活動の支援（活動のコーディネート）



- (8) 音訳ボランティアグループの支援（活動日の調整）
- (9) 登録ボランティアグループの支援（活動相談及び情報発信）
- (10) 福祉ボランティア活動応援資金の受付（受付8件）
- (11) 登録ボランティアへの情報発信（12回）及び活動の需給調整

## 5. その他ビューロー事業

- (1) ボランティアの需給調整（延べ160回）
- (2) ボランティア登録の面接及び受付（40人）
- (3) ボランティア保険の受付及び事務処理（受付480件、事務処理12回）
- (4) 福祉教育（当事者体験談、車いす体験、アイマスク体験の実施、合計14回）
- (5) 夏休みこどもボランティア体験（エコ活動体験4人、デイサービス体験13人）
- (6) 空堀・桃谷ふれ愛まつりのボランティア協力（大阪市立上町中学校）
- (7) 中央区生涯学習関連施設連絡会への出席

## 6. 協働・共催事業について

- (1) 保育ボランティアスクールを中央子育て支援センター及び中央区子ども・子育てプラザとの共催で実施
- (2) 中央区フィランソロピー懇談会の支援（大阪市ボランティア・市民活動センター）
- (3) チャリティーフェスティバルの開催（中央区フィランソロピー懇談会）
- (4) 夏休みこどもエコボランティア体験の開催（中央区フィランソロピー懇談会）
- (5) 空堀・桃谷ふれ愛まつりへのボランティア協力（桃谷地区地域活動協議会）
- (6) 中央区生涯学習関連施設連絡会への参画（中央区役所）
- (7) にぎわいスクエアへの参画（中央区役所）
- (8) 企業・市民協働交流会の開催（中央区役所）

## 7. ボランティア登録数（平成27年3月末現在）

個人：129名      グループ：19グループ（433人）

## Ⅲ 通所介護事業(デイサービス)

介護保険のサービスとして、介護認定を受けられた方を対象に、入浴、食事の提供やレクリエーションなどの機能訓練を行い、心身機能の低下を防ぐとともに、ご家族の介護負担の軽減を図りました。

### (1) 事業内容

- |                |                 |
|----------------|-----------------|
| ① 入浴サービス       | ② 食事サービス        |
| ③ 生活指導(相談・助言等) | ④ 機能訓練、レクリエーション |
| ⑤ 健康チェック       | ⑥ 送迎            |

(2) 利用料

介護報酬の告知上の金額(大阪市域適用額)

参考：要介護1の場合、一日単位（5時間以上7時間未満）で8,010円（入浴代含む） 自己負担分：801円

食事代 600円

(3) 平成26年度利用状況

登録者数：59名（平成27年3月末現在）

開設日数：248日

介護度別延べ利用者数：4,000人

要支援1 212人 要支援2 836人

要介護1 934人 要介護2 826人 要介護3 887人

要介護4 51人 要介護5 254人

## IV 介護予防事業

要介護認定を受けていない方、または要介護認定が非該当（自立）になられた方で、要介護・要支援になるおそれのある65歳以上の高齢者（二次予防事業対象者）を対象に、できる限り自分らしく生き生きと暮らしていただくため、生活機能の低下を防ぎ、要介護・要支援状態にならないよう介護予防事業を実施しました。

＜事業に参加するには＞

各関係機関による基本チェックリストの実施の後、生活機能の低下が見られる方に対して、かかりつけ医等において事業参加健診を受けていただきます。

そして、本人の意向を確認したうえで、地域包括支援センターにおいて介護予防ケアプランを作成します。

＜事業内容＞

(1) 介護予防事業複合型プログラム

運動器の機能向上事業 ※ 1クール20回のうち14回

トレーニング器具などを使い、立ち座りや歩行に必要な筋力をつけ、転倒を予防するための運動を行います。

栄養改善事業 ※ 1クール20回のうち3回

食べることを支援し、バランスの良い食事内容について、調理実習などを通して栄養改善に努めます。

口腔機能向上事業 ※ 1クール20回のうち3回

しっかりと噛み、食事や会話が楽しめるよう、また誤飲防止など、歯磨きの指導や顔のマッサージの方法などを学びます。

(2) 閉じこもり等予防事業

地域の憩いの家などに出かけ、創作活動やレクリエーションなど多彩なプログラムで楽しく過ごし、また地域の方々との交流を図ります。

<利用料> 無料

<平成26年度実施状況>

(1) 介護予防事業複合型プログラム

登録者数 133人

延べ参加者数 1,549人

開設回数 369回

※平成25年度継続クールの15～19クール及び平成26年度1～14クールは完了。

15～19クールは27年度継続開催

運動器の機能向上事業 260回

栄養改善事業 56回

口腔機能向上事業 53回

(2) 閉じこもり等予防事業 (12地域で実施)

登録者数 84人

開設回数 132回

延べ参加者数 1,527人

地域名	登録者数 (二次予防事業対象者)	開設回数	延べ 参加者数	延べ参加者数内訳		
				事業対象者	一般参加者	ボランティア
桃谷	9人	12回	101人	57人	32人	12人
桃園	12人	12回	370人	106人	193人	71人
東平	8人	12回	204人	60人	97人	47人
玉造	14人	12回	219人	47人	118人	54人
南大江	10人	12回	80人	51人	5人	24人
集英	5人	12回	72人	33人	27人	12人
金甌	2人	12回	109人	11人	86人	12人
中大江	10人	12回	88人	68人	7人	13人
渥美	4人	12回	100人	31人	57人	12人
芦池	1人	12回	45人	11人	22人	12人
御津	5人	12回	72人	30人	30人	12人
道仁	4人	12回	67人	26人	29人	12人

※渥美・芦池地域は合同開催

## V 地域包括支援センター事業

地域の高齢者の方が、住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、関係機関や地域・行政と連携しながら、①総合相談支援、②虐待の早期発見・防止などの権利擁護、③包括的・継続的ケアマネジメント支援、④介護予防ケアマネジメントなどの活動を実施しました。

### 1. 包括的支援事業

#### (1) 総合相談支援

高齢者やその家族からの介護・福祉の相談を総合的に受けるとともに、必要に応じて訪問するなど実態把握のうえ必要なサービスにつなぎました。

<平成26年度総合相談実績>

	平成26年度	平成25年度
訪問による相談	512件	508件
電話による相談	2,591件	2,124件
来所による相談	472件	378件
その他	82件	19件
合計	3,657件	3,029件
相談実人数	590件	490件
内、訪問実施数	218件	182件

<相談内容の内訳> ※重複あり

	平成26年度	平成25年度
家族・家庭問題	58件	25件
経済・生活問題	703件	853件
介護サービスに関すること	910件	916件
介護予防サービスに関すること	851件	594件
介護予防事業に関すること	61件	20件
福祉サービスに関すること	80件	31件
保健・医療サービスに関すること	283件	242件
虐待に関すること	573件	261件
成年後見制度の活用に関すること	52件	53件
生きがづくり	4件	2件
その他	82件	32件

#### (2) 虐待の早期発見・防止などの権利擁護

平成18年に施行された「高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援等

に関する法律(高齢者虐待防止法)」に基づき、中央区の高齢者虐待に関する相談・通報窓口としての役割を担うとともに、「中央区障がい者・高齢者虐待防止連絡会」に参加し、高齢者虐待防止に向け活動を実施しました。

- ① 虐待の早期発見・防止のための活動
- ② 成年後見制度の利用に向けた活動
- ③ 消費者被害防止のための情報提供などの活動

※平成26年度 新規対応件数 6件 (内 虐待と判断3件、虐待と判断せず3件)  
 継続対応件数 3件

(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援

高齢者に対し包括的かつ継続的なサービスが提供されるよう、地域の多様な社会資源を活用したケアマネジメント体制の構築をめざし活動を実施しました。ケアマネジャーや看護師・ヘルパー・デイサービス介助員など専門職の横のつながりや職種を越えた介護スタッフ間の連携強化をめざし、事務局として後方支援を実施しました。

<会議開催・参加状況>

地域ケア会議	23回
食事サービス運営委員会	12回
地域密着型サービス運営推進会議への参加(グループホームさざなみ松屋町、グループホームフレンド大阪中央)	11回
その他ネットワーク構築のための会議への参加	48回
地域包括支援センター区運営協議会	4回
サービス利用調整会議(高齢者虐待)	10回
地域等との関係づくり	39回

<包括的継続的ケアマネジメント>

介護支援専門員個別相談件数	74件
居宅介護支援事業者連絡会	12回
介護支援専門員への研修会	5回
主任介護支援専門員連絡会	6回
新人介護支援専門員向け研修会 わかばタイム	6回

\*その他ネットワーク構築のために開催した会議・参加した会議など

中央区訪問介護訪問看護事業者連絡会・中央区通所介護事業者連絡会・中央区障がい者高齢者虐待防止連絡会議・中央区認知症高齢者支援ネットワーク連携会議・中央区介護事業者三者連絡会・中央区地域ケア研究集会実行委員会・地域包括支援センター連絡会・中央区家族介護の会(やすらぎ)

#### (4) 介護予防ケアマネジメント事業

要介護状態になることをできる限り予防するために、利用者の生活機能の向上に対する意欲を引き出しながら、日常生活についての目標を明確にし、介護予防事業を適切に利用する計画を作成し、達成状況を評価して必要に応じて計画の見直しを行うなどの支援を実施してきました。

##### ① 介護予防ケアマネジメント

要介護・要支援者状態となるおそれのある方に対する介護予防事業を効果的に提供するために適切なケアマネジメントを実施

原則として、65歳以上の介護保険の要支援・要介護認定を受けていない方で、生活機能評価を受診して該当した高齢者が対象

##### <事業内容>

- a) 対象者の把握 b) 現状把握(一次アセスメント)  
c) 介護予防ケアプランの作成 d) 評価及び目標達成状況を管理

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
二次予防事業対象者把握数	299人	341人	315人	409人
ケアプラン作成数	133人	63人	64人	78人

##### ② 指定介護予防支援事業

要支援と認定された方が介護保険サービスを利用されるときに、地域包括支援センターがケアプランを作成するなどケアマネジメント業務を実施しています。利用者によっては、居宅介護支援事業者が地域包括支援センターと契約を行い、委託による業務を実施しています。

##### <事業内容>

- a) 介護予防サービス計画の作成  
b) 介護予防サービス事業者との連絡調整  
c) サービス実施状況の把握、評価  
d) 利用者状況の把握  
e) 給付管理  
f) 要支援認定申請に対する協力、援助  
g) 相談業務

	23年度	24年度	25年度	26年度
居宅介護支援事業所一部委託	231人	163人	228人	294人
地域包括支援センター担当	319人	175人	156人	137人
計	550人	338人	384人	431人

## 2. 出前相談会

地域の会館などに職員が出向き、講座や相談会を開催することで、介護や認知症の啓発を行うとともに、地域包括支援センターの広報を行い、相談しやすい環境づくりに努めました。

地域名	日程	内容	参加者数
桃園地域	9月19日	介護保険制度の説明・基本チェックリスト実施	29人
桃谷地域	1月24日	桃谷歌声のつどいにて頭の体操実施	72人
金甌地域	7月4日	「消費者被害にあわないために」	22人
金甌地域	9月5日	介護保険の使い方と介護予防事業紹介・基本チェックリスト実施	18人
渥美・芦池	7月18日	「認知症を予防するには」	21人
御津地域	9月9日	「認知症を予防するには」	47人
大宝地域	9月18日	「地域包括支援センターとは」	80人
大宝地域	10月5日	ふれあい喫茶での懐メロ演奏会・脳の体操に参加	25人
道仁地域	10月11日	ふれあい喫茶にて出前相談コーナー設置	47人
高津地域	9月5日 12日・19日 26日	地域食事サービスにて出前相談コーナー設置	160人
高津地域	10月5日	ふれあい喫茶にて出前相談コーナー設置	110人

## 3. 家族介護支援事業関係

### (1) 家族介護支援事業

適切な介護知識・技術、認知症の理解を深めるとともに、介護者同士の交流により、介護者自身の心身のリフレッシュを図り、介護に必要な情報交換ができるような場づくりを目指し、家族介護支援事業を3回実施しました。

- 第1回 日時 平成26年9月25日(木) 14:00~15:30  
場所 中央区在宅サービスセンター  
内容 「高齢者の食事、嚥下食、栄養について学ぼう！」  
参加者 27名
- 第2回 日時 平成26年10月24日(金) 13:30~15:30  
場所 桃園会館  
内容 絵手紙教室  
参加者 11名

第3回 日 時 平成26年11月26日(水) 9:40～15:30  
 行き先 京都方面(八つ橋庵かけはし～ししゅうの館)  
 内 容 「リフレッシュバスツアー」  
 参加者 18名

## (2) 家族介護の会「やすらぎ」

毎月第1水曜日に開催

高齢者を介護する家族同士の交流を通して、相互の情報交換や専門職からの情報提供を行います。

平成26年度は11回開催し、参加者は108人。

4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
12人	10人	12人	8人	11人	6人	10人	9人	10人	12人	8人

※参加者数には、家族会員、講師等を含む

## 4. 中央区認知症高齢者支援ネットワーク連携会議(CoCoネットちゅうおう)

平成20年度、大阪市のモデル事業受託により開始。中央区の高齢者が認知症になっても安心して地域で暮らし続けることができるまちの実現をめざして、医療・介護・地域・行政が一体的に連携できる会議を設置し、平成26年度についても活動を継続しました。(連携会議の愛称である『CoCoネットちゅうおう』とは、認知症の支援に不可欠な連携に象徴される“コミュニケーション”“コミュニティ”の頭文字をとり、地域の温かい支えあいをイメージしてネーミングされました。)

### (1) 会議

第1回 平成26年7月29日(火) 14:00～15:30

第2回 平成27年2月24日(火) 14:30～15:30

### (2) 認知症講演会

開催日 平成26年10月24日(金) 14:00～16:00

場 所 大阪市立中央区民センター 大ホール

内 容 認知症講演会 ～認知症を予防する10の戦略～

講 師 横井 嘉津志先生(関西福祉科学大学保健医療学部リハビリテーション学科准教授)

対 象 区民、専門職 ほか

参加者 87名

## 5. 中央区地域ケア研究集会

平成23年度より、中央区内の医療・介護関係機関の連携強化をめざして、大阪市中央区東医師会・大阪市中央区南医師会・大阪市東歯科医師会・大阪市南歯科医師会・中央区東薬剤師会・中央区南薬剤師会・中央区居宅介護支援事業者連絡会・



中央区訪問介護訪問看護事業者連絡会・中央区通所介護事業者連絡会の9団体が主催し、中央区役所・中央区保健福祉センター・中央区社会福祉協議会が後援しています。地域包括支援センターは事務局として企画・実施しました。

開催日 平成26年12月6日(土) 12:00~18:00  
場 所 大阪市立中央会館 ホール  
内 容 基調講演：「地域包括ケアシステムにおける病院の役割について」  
講師：久山 純先生（大手前病院 副院長）  
事例発表：各団体より7事例発表  
グループワーク：多職種によるグループワーク  
ランチョンセミナー「免疫力を高める食事」講師 爲房 恭子先生  
対 象 中央区にて医療・福祉に携わる専門職  
参加者 159名

## VI 居宅介護支援事業

介護保険のサービスとして、要介護認定・要支援認定を受けられた方を対象に、心身の状況や環境などに応じて、ご本人の意向を踏まえ、サービスを適切に利用できるよう支援しました。サービスの種類や内容を本人と相談のうえ、ケアプランを作成するとともに、サービス事業者はもとより行政や関係機関と連絡調整を行い、高齢者の方が介護保険制度を利用し地域で安心して暮らせるよう支援を実施しています。

### (1) 事業内容

- ① 居宅サービス計画の作成
- ② 居宅サービス事業者との連絡調整
- ③ サービス実施状況把握、評価
- ④ 利用者状況の把握
- ⑤ 給付管理
- ⑥ 要介護（支援）認定申請に対する協力、援助
- ⑦ 相談業務

### (2) 平成26年度利用状況（平成27年3月末現在利用者数）

要介護1・2	20人
要介護3・4・5	7人
要支援1・2	11人
計	38人

## Ⅶ あんしんさぼーと事業(日常生活自立支援事業)

認知症、知的障がい、精神障がいなどにより、判断能力が不十分な方や金銭管理に不安のある一人暮らしの高齢者で、大阪市内に在住し、かつ契約時に意思の確認ができる方を対象に実施しました。

平成 16 年度まであんしんさぼーとセンターで実施していた認知症や知的障がい、精神障がい等により判断能力が不十分な方への日常生活自立支援事業については、地域での利用待機の解消及び今後の利用希望増加のニーズに応えるため、平成 17 年度から、区社協において、相談から契約、福祉サービス等利用援助及び日常的な金銭管理、書類預かりサービス等を実施しています。なお、このあんしんさぼーと事業は地域包括支援センター事業、地域生活支援事業と一体的に実施しています。

＜サービス利用料＞

	金銭管理サービス	預りサービス
市民税課税者	1回 900円	年間 3,000円 (月250円)
市民税非課税者	1回 600円	
生活保護受給者	無料	無料

＜平成 26 年度利用状況＞

	相談件数	委任契約 締結件数	委任契約 終了件数	異動件数	年度末 利用件数
認知症・高齢者等	966	7	4	0	33
知的障がい者等	169	1	0	0	5
精神障がい者等	36	0	0	0	1
その他	29	0	0	0	0
計	1,200	8	4	0	39

## Ⅷ コミュニティソーシャルワーク推進（地域生活支援）事業

中央ブロック 4 区社会福祉協議会グループ（共同体）として大阪市から受託し、代表区として大阪市や他 3 区社会福祉協議会と連絡調整しながら事業を実施しました。

地域と連携・協働し、高齢者に限らず、障がい者・子どもも含んだ支援を必要とする全ての人を対象として、地域での様々な福祉課題の発見・ニーズ把握、情報提供、相談援助と適切な社会資源へのつなぎ、調整と継続的な見守り活動などの総合的な支援を行いました。

### (1) 事業内容

- ① 認知高齢者とその家族の継続的な相談や日常の見守り

- ② 日常生活自立支援事業利用サービスなど
- ③ 成年後見制度を必要とする高齢者・障がい者への利用にかかる支援
- ④ 虐待ケースの発見と適切な専門機関へのつなぎ、連携と継続的な見守り
- ⑤ 障がい者の地域での自立生活への支援
- ⑥ 高齢者にかかる介護予防の推進
- ⑦ 子育て家庭の不安感の解消・軽減をはかるための支援
- ⑧ 複合した課題を抱える家族の相談と適切な社会資源へのつなぎ 等

(2) 個別相談実施状況(平成26年度累計)

訪問による相談・支援延件数	327件
電話による相談・支援延件数	70件
来所による相談・支援延件数	7件
合 計	404件

(3) 主な相談支援内容(平成26年度累計)

家庭・家族問題	36件
経済・生活問題	253件
介護サービスに関する事	142件
福祉サービスに関する事	181件
保健・医療サービスに関する事	128件
その他	27件
合 計	767件

## IX 地域福祉見守り活動事業

中央区の独自事業として、地域社会福祉協議会ごとに「地域福祉コーディネーター」を配置し、65歳以上の高齢者、障がい者等の要援護世帯に対し、福祉相談や見守り活動を行いました。

(1) 事業内容

- ①福祉相談や日常的な見守り
- ②関係機関への連絡調整
- ③地域社会福祉協議会等に対する福祉課題の提言
- ④その他、地域福祉見守り活動の推進に関する事

(2) 相談件数(平成26年度累計)

訪問による相談延件数	2,321件
電話による相談延件数	932件
来所による相談延件数	421件
合 計	3,674件

(3) 主な相談内容（平成26年度累計）

生活上のこと	2,411件
家族のこと	155件
家族介護のこと	64件
その他	1,044件
合計	3,674件

## X 地域福祉活動推進事業

高齢者に限らず、障がいのある人や子育て世帯の支援など総合的な「地域支援システム」の構築が進められるなか、地域支援調整チーム（実務者会議・地域ケア会議）に関する業務とともに、地域ネットワーク委員会への支援業務を実施しました。

また、大阪市から地域福祉活動に関する研修・啓発事業を受託し、「地域包括ケアシステム」や「在宅医療と介護サービスの連携」についての講演会や研修会など普及啓発活動を実施しました。

### 1. 「地域支援調整チーム」における実務者会議に関する業務

(1) 地域ケア会議の開催

＊開催状況は「V 地域包括支援センター事業参照」

(2) 研修会の開催

認知症講演会

開催日 平成26年10月24日（金） 14:00～16:00

テーマ ～認知症を予防する10の戦略～

＊開催状況は「V 地域包括支援センター事業参照」

地域福祉フォーラム

開催日 平成27年3月3日（火） 13:30～15:30

テーマ 「安心の合言葉は“支え愛”」

### 2. 地域ネットワーク委員会に関する業務

(1) 研修会の開催

①認知症サポーター養成講座～認知症における正しい理解～

実施地域 1地域

開催場所 地域会館

参加対象者 ネットワーク委員、地域住民

②認知症講演会

「～認知症を予防する10の戦略～」

開催日 平成26年10月24日（金） 14:00～16:00

開催場所 中央区民センター

\* 開催状況は「V 地域包括支援センター事業参照」

③地域福祉活動推進事業 講演会

開催日 平成27年1月30日(金) 13:30~15:45

開催場所 中央区民センター

内 容 第一部 講演会「認知症予防のお話」など  
第二部 マリンバ演奏

④地域社協・ネットワーク委員会研修会

「いつまでも安心して暮らせる町に！～今ある「制度」と「地域」の連動～」

開催日 平成27年2月20日(金) 14:00~15:30

開催場所 ふれあいセンターもも

⑤地域福祉アクションプラン「地域福祉フォーラム」

開催日 平成27年3月3日(火) 13:00~15:30

テーマ 「安心の合言葉は“支え愛”」

開催場所 中央区民センター

(2) 地域福祉コーディネーターの活動支援

①地域福祉コーディネーター連絡会 ※定例開催

開催日時 毎月第2木曜日 午後1時30分~2時30分

場 所 ふれあいセンターもも等

主な内容 各地域の見守り活動の情報交換、意見交換、事務局からの連絡等

②地域福祉コーディネーター研修会

開催日 ・平成26年 7月10日(木) ・平成26年10月24日(金)

・平成26年11月13日(木) ・平成26年12月11日(木)

・平成27年 1月30日(金) ・平成27年 2月20日(金)

場 所 ふれあいセンターもも、中央区民センター、グループホーム

主な内容 施設見学、認知症について、統合失調症とその支援等

(3) 広報・啓発

①広報紙『中央区社協だより』において、各地域ネットワーク委員会の取組みを順次紹介。

②「中央区社協フェスタ」(11月16日開催)において、「ふれあい喫茶」コーナーに各地域における福祉活動のちらしを設置し、活動情報を区民に紹介。

③中央区地域福祉アクションプラン「地域福祉フォーラム」(3月3日開催)

において、各地域における福祉活動のちらしを設置し、活動情報を区民に紹介。

④区民まつりにて認知症クイズを実施し、啓発物品を配付。

⑤「中央区おひとりさま老後あんしんブック」を作成し、区民に配布。

### 3. 認知症サポーター養成講座の実施

厚生労働省の「認知症を知り地域をつくる」キャンペーンとして、認知症サポーター100万人キャラバンが行われ、その一環として大阪市において平成19年度より「認知症サポーター養成講座」の活動を開始しました。認知症サポーター養成講座は、認知症について正しい知識をもち、認知症の方や家族を支援し、誰もが暮らしやすい地域づくりにご協力いただくボランティアを養成する活動で、受講したサポーターにはオレンジリングを配付しています。

<平成26年度実施状況>

対象者	区内在住または在勤で認知症について関心のある方
開催数	27回
受講者数	737名

## XI 老人福祉センター管理運営事業

身近な高齢者の福祉施設として、地域のすべての高齢者の方に対して生きがいきり活動への参加促進、世代間交流の促進、高齢者のボランティア活動の推進、高齢者の健康づくりと介護予防の促進等を目的として、日頃より高齢者からの各種の相談に応じるとともに、講演会の開催やレクリエーションの機会の提供、自主的なサークル活動やボランティア活動の支援などを行ってきました。

中央区社協は、大阪市より平成26年4月からの5年間、東・南老人福祉センター2館の指定管理者の指定を受け、管理運営を行っています。

<施設利用状況（平成26年4月～27年3月）>

#### (1) 中央区東老人福祉センター

延べ利用人数 21,431人（内訳：男6,215人 女：15,216人）

内 容		回数	参加人数	備 考
生きがいきり活動		866	11,122人	
	センター主催 講座・講習会	2	42人	着付講習会、川柳講座
	サークル活動支援	763	9,679人	書道、押絵他 32 同好会
	生きがい探求講座	101	1,401人	お誕生会カードづくりボランティア他
世代間交流事業		8	578人	盆踊大会他
高齢者の自主的な地域福祉活動支援		1	354人	昔あそび手作りおもちゃ指導
健康づくりと介護予防の促進		72	1,816人	
	健康づくりリーダー養成講座	3	37人	ウォーキングリーダー養成他
	健康づくり講座	30	818人	健康づくり料理講習会他
	健康体力づくり行事	39	961人	ウォーキング他

総合相談講演会	20	520 人	講話「ゴミの分別」他
合同行事	12	2,227 人	
合同行事	11	2,208 人	バスツアー、コンサート他
高齢者月間行事	1	19 人	大阪市高齢者福祉大会
その他行事	14	896 人	お誕生会、文化祭他
施設利用等		3,918 人	老人クラブ会議、自由開放他
総 数	993	21,431 人	

(2) 中央区南老人福祉センター

延べ利用人数 19,697人 (内訳：男4,985人 女：14,712人)

分 類	回数	参加人数	備 考
生きがいづくり活動	799	10,110 人	
センター主催 講座・講習会	518	5,215 人	箏曲教室・絵画教室他 26 教室
サークル活動支援	263	3,431 人	カラオケ同好会他 7 同好会
生きがい探求講座	18	1,464 人	童謡ひろば他
世代間交流事業	7	1,087 人	夏まつり、もちつき大会他
利用者による館事業の実施	13	578 人	文化祭、カラオケ発表会等
健康づくりと介護予防の促進	98	2,766 人	
健康づくりリーダー養成講座	3	37 人	ウォーキングリーダー養成他
健康づくり講座	57	1,662 人	リズムストレッチ体操他
健康体力づくり行事	38	1,067 人	ウォーキング他
総合相談講演会	25	1,487 人	交通安全、防災他
合同行事	13	2,276 人	
合同行事	12	2,257 人	バスツアー、コンサート他
高齢者月間行事	1	19 人	高齢者福祉大会
その他行事	3	197 人	音楽コンサート
施設利用等		1,196 人	老人クラブ会議、自由開放他
総 数	958	19,697 人	

## XII 子ども・子育てプラザ事業

次代を担う子どもの健やかな育成と家庭や地域の子育て力を高めるため、在宅で子育てを行っている家庭や地域の子育て活動を支援するとともに、乳幼児期の親子や子育て支援関係者、就学期の子どもたちが集い交流する機会を提供し、もって地域福祉活動の推進を図っています。

## 1. 子育て活動支援事業

### (1) 子育て情報の収集・提供

- ・子ども・子育てプラザ広報紙「つどいの広場だより」（毎月1回200部発行）
- ・区内子育て情報紙「わいわいねっと新聞」事務局（毎月1回1,500部発行）
- ・ホームページにおける、子ども・子育てプラザ事業の周知（随時）

(2) 自主的な子育て活動支援(利用人数)	1, 498人
(3) 子育て中の親子の支援(事業・講座数)	101事業
(実施回数)	117回
(参加人数)	3, 137人
(4) 児童の健全育成(事業・行事数)	60事業
(実施回数)	60回
(参加人数)	8, 389人
(5) 地域関連事業(事業・行事数)	8事業
(参加人数)	1, 605人
(6) その他(区事業)(事業・講座数)	24事業
(ネットワーク会議)	12回
(参加人数)	216人
(7) その他(一般利用)(利用回数)	559回
(参加人数)	6, 788人

## 2. ファミリー・サポート・センター事業

(1) サブリーダー会議(実施回数)	9回
(2) 交流会・学習会(参加人数)	37人
(3) ペアリング(実施件数)	98件
(4) 登録会員(総数)	257人
(5) 援助活動実施件数(活動件数)	679件

プラザ来館者及び(1+2)事業参加者総数

【利用人数Ⅰ】 13, 995人

(開設日数) 295日

## 3. 地域子育て支援拠点事業

(1) 交流の場の提供と促進(参加人数)	13, 172人【利用人数Ⅱ】
(開設日数)	245日
(2) 相談と援助(相談件数)	464件
(3) 子育て支援講習(事業・講座数)	51事業



	(実施回数)	5 2 回
	(参加人数)	2, 1 9 3 人
(4) ブックスタート	(実施回数)	1 2 回
	(参加人数)	1 0 3 人

利用人数 I + II	2 7, 1 6 7 人
-------------	--------------